

Data(2014年7月現在)

所在地：〒252-0329 神奈川県相模原市南区北里2-1-1

スタッフ：大野佳子(准教授)、森谷栄子(講師)、吉田直子(講師)、中井泉(助教)

URL <http://www.kitasato-u.ac.jp/>



北里大学看護学部生活支援看護学 地域看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は7学部を有する総合大学であり、今年(2014年)で北里研究所創立100周年を迎え、2016年には看護学部が開設されて30年の節目を迎えます。学祖・北里柴三郎博士が築いてきた建学の精神「開拓」「報恩」「叡智と実践」「不撓不屈」を受け継いで、本学部でも徹底して臨床実践力・看護の専門性を追求する教育をめざしています。地域看護学領域では、4人体制で新カリキュラム運営に奔走しているところです。

Education

どのような教育をしていますか？

保健師選択課程の学生は、主に行政分野から公衆衛生看護活動の実際を学んでいきます。同時に、選択しない学生も全員が“地域の視点”をもって卒業できるよう、教育目標と方法について工夫しております。なかでも「生活支援看護学実習」は、地域と保健医療機関の接点である外来診療部門および地域連携部門、健診センターなどにおいて対象者と家族を生活者として捉え、看護のあり方を学んでいます。その教育には独自性があり、地域看護学教育の勘所と言えます。

Research

どのような研究をしていますか？

領域内で進める研究としては、前述のように新たな視点で工夫し組み立てた教育について、その効果を検証していくという「教育介入の評価検証」が主な研究テーマです。学生が教育の工夫によってどのように変化・成長していくのか、形にしていく作業にやりがいを感じます。また、学外で進める共同研究としては、とくに依存行動について保健指導のより高い効果を得るために、看護職だけでなく健康心理学者や医師などと連携して、国境を越えて人間理解と介入研究を展開しているところです。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

本学部と同じ敷地内にある北里大学病院は、地域の中核となる医療機関として市民との長い付き合いがあり身近な存在です。本学部卒業生の7割近くは、毎年北里大学病院系列へ入職しています。また、相模原市とコンソーシアムを組み、市民を対象に認知症予防や「最期までこの地域で暮らす」ための公開講座や講演活動を行ってきました。その他、市の主催する区民会議や患者支援ネットワーク会議への参画などを継続し、今後も相模原市とタッグを組んで地域の健康なまちづくりに取り組んでいきたいと考えます。

ひとこと

スタッフの体制が十分でないなか、日々、健気に頑張っております。地域の住民力を生かした教育方法の工夫や、より地域住民に役立つ研究の推進など、今後さらに発展させていきたいと思っています。私たちと一緒に共同で地域活動や研究に取り組んでみませんか。ご連絡をお待ちしています。……大野

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。

応募について ●まず電話、FAX、E-mailにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp